

『恩師および卒業生の作品コーナー』への寄贈作品一覧 2025年度 同窓会東京支部

2025年

分類	寄贈年	著者	書 名	出版社	発行年	ページ数	価格	卒業年	卒業回	著者紹介
専門書	2025	大須賀隆子 (共著)	童話療法の展開 ——自己再生の表現療法	ゆまに書房	2018	221	3,200	昭和47年	高23回	旧姓：正木隆子 お茶の水女子大学に進学。大学在学中には研究テーマが見つからず、ともかく「現場」を体験したいと考え、校内暴力全盛期の公立中学校の教員になった。悲憤の教員生活を6年間勤め、夫の転勤を機に退職。それから10数年後の1995年、公立中学校にスクールカウンセラーが配置されることになった。大学で、荒れた中学校が研究対象になり、臨床心理士養成課程が設置された。絶好のチャンス到来と思い、下の子の小学校入学を機に、同上大学の臨床心理士養成課程に再入学した。再入学後、お茶大附属幼稚園(東京女高師附属幼稚園)は日本の幼稚園であり、大正期に主事を務めた倉橋惣三の「自ら育つものを育てさせようとする心」の保育理念は現在の幼稚園教育要領や保育所保育指針に継承されていることを知った。同上幼稚園をフィールドにした修士論文が契機となって、都内短大の保育者養成校に勤務することになり、その後、山梨県の4年制大学に勤務した。短大・大学での保育者養成実践研究『電話療法の展開』に所収。勤務の傍ら、お茶大大学院博士後期課程に通い、10年間かけて論文を執筆。2020年に博士号を取得。その博士論文に加筆修正したのが『子ども主体の造形表現への変革』である。本書は、1950年代に、第二次世界大戦の惨禍を二度と繰り返さないための人づくり、つまり、想像力と創造力を発揮できる子ども主体の保育を悪戦苦闘しながら模索した宮武辰夫の実践を辿っている。それは、私自身の中学校教員時代の問題意識の解決と克服、そして、今後の課題の方向性を追究するための悪戦苦闘でもあった。
専門書	2025	大須賀隆子	子ども主体の造形表現への変革 宮武辰夫の<生きもの>思想を土台とした方法論<全身のスクリブル>と実践	溪水社	2023	340	5,000			
専門書	2025	小寺 正洋	英語抽象名詞の可算性の研究 英語教育の視点から	ひつじ書房	2024	347	7,800	昭和50年	高26回	関西学院大学文学部英文学科卒業 ダルハウジー大学(カナダ)教育学修士(MEd) ケンブリッジ大学(イギリス)英語・応用言語学修士(MPhil) バーミンガム大学(イギリス)英語・応用言語学博士(PhD) 京都聖母学院短期大学准教授を経て、阪南大学国際コミュニケーション学部教授 現在 阪南大学名誉教授 研究の中心課題 英語の名詞の可算性
一般書	2025	齋川陽子 (共著)	大人のジュエリー ルールとコーディネート	誠文堂新光社	2016	191	1,800	昭和61年	高37回	ジュエリー卸会社の企画営業として、海外ブランド立ち上げ、百貨店催事等担当、代官山にてオーダージュエリーショップ店長。5年間御徒町にて加工・デザイン・卸ショップ共同経営。銀座にてジュエリーショップ店長、デザイナー、宝石相談、セミナー講師を務める。現在中目黒を拠点にフリーとして活動中。宝石珊珊をはじめジュエリーデザイン、宝石相談、海外買い付け、ジュエリーメーカーコンサル、アドバイス等を手掛ける。 また、カラー診断+ジュエリーコーディネートアドバイスも人気あり。1年半で300名の実績あり。
一般書	2025	藤田卓也	伝え方で 損する人 得する人	SBクリエイティブ	2024	336	1,760	平成17年	高56回	1987年生まれ。新市中央中、府中高校を経て、京都大学工学部、東京大学大学院工学系研究科修了。電通に入社し、1年目からコピーライターに配属。以降、コカ・コーラやIndeed、マクドナルドなど様々な企業の広告キャンペーンを企画制作。ファミリーマートの「コンビニエンスウェア」には立ち上げから関わる。2022年からヤフー(当時)に加わり、ブランドコミュニケーション全般を担当。
音楽	2025	浜崎ゆめ乃	バラの街～ Fukuyama おかえりなさい	自主制作	2022	CD	1,300 (税込)	昭和61年	高37回	福山市出身 本名：濱崎和子 2004年6月 Doo-wopバンドにて音楽活動をスタートコーラス担当。 2009年1月 声楽家 渡部光子氏に師事。ボイストレーニングレッスンを受ける。 2011年3月 ハンナゴスペル所属し、ゴスペル音楽を歌う。2017年ハンナゴスペルヨーロッパ 賛美旅行ドイツ聖トーマス協会にて聖歌隊として賛美フィンランド各地でコンサート出演。 2018年6月 Fork Rockバンド「Violetmoon」始動。ボーカル、ストーリーテラーとして「中世ヨーロッパの世界を旅する吟遊楽団」の世界を繰り広げる。 2019年以降ハワイでのゴスペルコンサート・バレーードに複数回出演 2022年9月 新曲「バラの街～Fukuyama 「おかえりなさい」cover 現在に至るまで、尾道、福山を中心としたコンサートに多数出演 2024年10月 第38回広島市民平和の集い 平和コンサート出演 2025年5月 世界バラ会議福山大会「ROSE CITY SOUND PROJECT」にて優秀賞受賞